





85,659人と記載されております。昨年度7の月ロータリーの友を確認しましたところ、当時でクラブ数2,248、会員数88,309人となっておりましたので、一年の間で合併を含めてク

ラブ数11減、会員数で2,650人減ということかと思われま。新型コロナウイルス感染拡大の影響も相当あったらうと感じています。

●横組4ページ「2021-2022年度会長テーマ」

シェカール・メータ国際ロータリー会長が定めた会長テーマは「SERVE TO CHANGE LIVES」「奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために」となり、多様な色をもつ世界を手のひらで支えるようなロゴマークとともに発表されました。LIVESと無冠詞複数形なので人の数と同じ数の人生や生活、命があり、それをただ変える「CHANGE」ではなく前向きに変えるイコール「豊かにする」という意識をとったテーマだと理解いたしました。

●横組7ページ「2021-2022年度RI会長のメッセージ」 それを受けて、横組み7ページでRI会長メッセージが指定記事として掲載されています。冒頭でテーマにある「CHANGE」に関連付け、「この1年をさらに成長し、さらに行動することで、共に人生最良の年にしましょう。変革者・チェンジメーカーの年にするのです」とし、3つのテーマを挙げられています。一つ目は「Each One, Bring One」、会員一人一人が新しい人を紹介すれば来年7月までに会員数が世界で130万人に増えるだけでなく、これまで以上に大規模かつ野心的な奉仕プロジェクトに取り組むことや、地域社会のニーズに応えた奉仕活動を続けることができると説いています。二つ目は私たちの奉仕に共通して組み込むことのできるテーマとしての「女子のエンパワメント」です。ロータリーには男女平等を押し進める力があり、これから立案するあらゆるロータリープロジェクトに女子のエンパワメントを組み込むべきとしています。三つ目としてポリオ根絶、衛生環境改善、基本的教育と識字率向上プログラムなど、大きな課題の解決に情熱を燃やすロータリーとして、国家規模で効果と影響があるプロジェクトやプログラムに力を入れると決意を述べられています。

●横組27ページ「第2600地区 ガバナー紹介」

横組20ページより37ページまで、今年度全地区ガバナーの紹介が掲載されています。第2600地区のガバナーは茅野 RC から、クラブ初選出となるガバナーとして桑澤一郎ガバナーの紹介記事が27ページに

載っております。茅野にて自動車学校を運営され、大型バイクも運転される桑澤ガバナーの基本理念は「情報を共有するためいかに手間を減らし、スピードを上げるか」であり、地区デジタル化元年にふさわしいガバナーと紹介されております。

■縦組21ページ「ロータリーアットワーク」より

当地区・上田東ロータリークラブの台風19号による上田電鉄別所線被災とその後の復旧への支援活動、そして再び全線開通となるまでのコミットを紹介する写真記事が掲載されています。復旧に懸ける想い、そしてこれからも持続可能なローカル鉄道とするための活動意義と地域活性化への取組を再確認しています。記事を見て地域密着で愛着と誇りにあふれた素晴らしい活動をされたと感じました

【会員増強特集】 永田利行委員長



本来ならば、来月が会員増強月間となりますが、前倒しをして皆さんに会員増強をお願いすることとなりました。

昨年来、コロナ禍の中で、思うような会員増強活動が出来ませんでした。当クラブは現在32名の会員数となっています。この約2年間新規加入者はありません。会員増強がなぜ必要なかを理解していただき、本年度は少しストレッチしての拡大目標を8名の増員とし、40名の会員数を確保したいと思います。

先月5日、会員増強セミナーがWEBで開催されました。そこで、ロータリーの新しいビジョン声明が発表されました。「私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むため、人びとが手を取り合って行動する世界を目指しています。」というものです。本日は、その内容をもとに、限られた時間ではありますが、皆さんに拡大の必要性和要点を理解していただき、新規会員の加入に役立てていただきたいと考えます。

本年は、会員一丸となって、目標達成の美酒を味わいたいと思います。是非とも皆さん、増強に対してコミットして下さい。よろしくお願い致します。

【点鐘13:30】

福田会長

☆第1回クラブ協議会と小学生による英語スピーチフェスティバル実行委員会が開催されました。

